

憲法カフェ 2023②

過労死問題の教育実践

－ 高校生はどう受け止めたか －

日時 2月3日(土)13:30～15:50

会場 クロスパルにいがた 308・309 講座室

お話 木村眞悟さん（県立加茂高校の公民科の先生）

《木村さんからのメッセージ》

国政選挙や県知事選挙にあわせて高校現場で、高校生への模擬投票を10年にわたって続けています。また、過労死遺族の方をお招きして、日本の労働環境を考えあう授業実践も続けています。

私たち教員の働き方も深刻です。休みのない長時間過密労働、古い言い方ですが「24時間働けますか？のガンバリズム」では学校はもうもちません。

教員こそ楽しく健康で働いている姿を生徒に見せなければ、働くことへの希望は湧いてこないのではないかと、そんな問題意識を持っています。学校現場で高校生たちと何を学びあい考えあっているのか、お話しさせていただきます。

新潟県憲法会議は、さまざまな憲法問題をとり上げた「憲法カフェ」を定期的開催しております。前回（2023年7月29日「憲法カフェ2023①」）の『LGBTとジェンダー平等』に引き続き、今回は、日本の厳しい労働環境を高校生がどのように理解しているかを、自らの労働実態を含めて現職教員の方からお話しさせていただきます。どうぞ多数の皆さんのご参加をお願いします。

【主催】新潟県憲法会議（憲法改悪阻止新潟県各界連絡会議）

連絡先・事務局 山口 茂（080-6721-5769）